

今年なら不足する老後資金0円? ~わが家のプランが重要

2019年の6月頃、「老後2000万円問題」で大騒ぎになったことをご記憶でしょう。これは金融庁の金融審議会、市場ワーキング・グループによる報告書『高齢社会における資産形成・管理』の内容に端を発します。

●「不足額2000万円」の根拠

この報告書の目的は、「貯蓄から投資へ」の政策を後押しするため、老後資金作りにおける「長期・積立・分散投資の有効性」を啓蒙することでした。ところが、危機感を持ってもらい自助努力を促すために出した、「公的年金だけでは不足する老後資金の額2000万円」という数字だけがクローズアップされ、大騒ぎになってしまいました。

「不足額2000万円」の根拠は、総務省が公表している『家計調査報告(家計収支編)』の中にある、「高齢夫婦無職世帯(夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯)」の家計収支が基となっています。実収入(税込み収入で世帯員全員の現金収入を合計したもの)から実支出(生活費と税金・社会保険料の合計)を差し引くと、赤字になるからです。

使用されていたのは2017年調査の数字で、毎月の赤字額は約5万円

になっており、単純計算すると20年間で1300万円、30年間だと2000万円が不足します。だから、自己資金の準備が不可欠とするわけです。

●2020年調査は黒字に

不足額2000万円のくだりの後に、「この金額はあくまで平均の不足額から導き出したものであり、不足額は各々の収入・支出の状況やライフスタイル等によって大きく異なる」とエクスキューズしているものの、報告書が出た時にはすでに2018年調査の数値が出ていました。にもかかわらず、2017年調査の数値をそのまま使ったことには意図を感じてしまいます。下表にある2018年の数値を使っていたら30年間の不足額は約1500万円で、ややインパクトに欠けると判断されたのかもしれませんが。

参考までにこの10年間に発表された同調査を追い、30年間の不足額を同じように計算してみると、年によって随分差があることがわかります。今年2月に発表された2020年調査では、コロナの影響で支出が減ったのか、何と毎月の収支が1000円ほど黒字になっており、30年間で約40万円の貯蓄ができてしまう結果になります。

●わが家の収支の予測から

だからと言って、自己資金を準備しなくてもいいと考える人はいないでしょう。この家計調査報告に限らず、よく見かける「〇〇の平均はいくら」といった数値には注意が必要です。家計運営の方針を誤らないためにも、あくまで目安として参考にするにとどめ、その数値に振り回されないことが大切です。

報告書のエクスキューズにあるように、老後資金の必要額は個々の家庭の収支状況やライフスタイルによって違ってきます。大切なのは「わが家」の場合はどうかです。わが家の収入は、今後働いて得る収入と公的年金・企業年金の見込み額から見通してみましよう。また支出は、現在の支出項目が老後生活でどう変化するかを予測してみます。その収支が赤字であれば、何年間かバーするかで準備すべき資金額を見積もることができます。

しかしその金額も、老後までかなりの時間がある世代は特に、様々な状況の変化によって見直す必要が出てくるでしょう。当面の貯蓄目標額と定め、今は支出の見直しなどで黒字額をなるべく増やし、元本保証の積立貯蓄、つみたてNISAやiDeCoを利用した積立投資との両建てで、資産作りを進めていくことです。

(クルー 浅田里花)

【年によって差がある高齢夫婦無職世帯の家計収支】

(円)

| 年 | 実収入 | 実支出 | 年間収支 | 30年間の不足額 |
|------|---------|---------|----------|------------|
| 2011 | 221,936 | 264,886 | ▲515,400 | 15,462,000 |
| 2012 | 218,722 | 270,395 | ▲620,076 | 18,602,280 |
| 2013 | 214,863 | 272,455 | ▲691,104 | 20,733,312 |
| 2014 | 207,347 | 268,907 | ▲738,720 | 22,161,600 |
| 2015 | 213,379 | 275,705 | ▲747,912 | 22,437,360 |
| 2016 | 212,835 | 267,546 | ▲656,532 | 19,695,960 |
| 2017 | 209,198 | 263,718 | ▲654,240 | 19,627,200 |
| 2018 | 221,575 | 264,707 | ▲517,584 | 15,527,520 |
| 2019 | 237,659 | 270,929 | ▲399,240 | 11,977,200 |
| 2020 | 256,660 | 255,549 | 13,332 | +399,960 |